【家庭教育支援チーム】

(1)活動主体(チーム)について

①チーム名 (呼称)	久万高原町家庭教育支援チーム (呼称 : 久万高原 Happy サポート) URL : <u>http://www.ikuwa.or.jp/</u>		
②活動拠点	久万高原町 地域子育て支援センター Happy House		
③活動範囲	久万高原町全域		
④組織体制	17 人 地域コーディネーター 1人、子育てサポーター 2人、保健師 1人、 元教職員 1人、臨床発達心理士1人、保育士 6人、児童厚生員 1人、 保育補助 3人、久万高原町教育委員会職員 1人		
⑤活動開始年度	平成20年度		
⑥問合せ先	(部署·氏名等) 久万高原町教育委員会生涯学習班 (TEL)0892-21-0319 (E-mail)kyouiku@kumakogen.jp		

(2)活動内容について

① 活動形態 (複数チェック可能)	図保護者等への学びの場の提供		
	☑保護者等への地域の居場所づくり		
	☑アウトリーチ型家庭教育支援(※保護者の居場所に出向いて届ける支援)		
	■ (□自宅に届ける支援(情報提供、相談対応等)		
	□保育所・幼稚園・学校等に届ける支援(情報提供、相談対応等)		
	☑その他の保護者に届ける支援(情報提供、相談対応等)		
	□その他()		
②活動対象 (複数チェック可能)	☑乳幼児 ☑小学生(低学年) ☑小学生(中学年) ☑小学生(高学年)		
	☑中学生 ☑高校生以上		
	の子供を持つ保護者に対する活動を実施		

【具体的な活動内容】

子育て情報発信

子育て家庭と地域を繋ぎ、母親の孤立を防止する。 子育で情報誌「キラリ」発行、育和会だより掲載、育和会ホームページ掲載

·学習会「Happy カフェ」開催

子育て世代の出会いと集まりの場として、講座・グループワーク・子育てトークなどの内容で開催、子育ての楽しさを感じてもらい、参加者のコミュニケーション能力を高める。

•相談活動

町内小学校・幼稚園への訪問相談、育和会施設内(Happy house・NIKONIKO 館 久万保育園)での保護者への相談を通して子育ての不安や悩みに寄り添う。

③活動内容

・保健センターと連携

乳幼児健診・離乳食教室等に参加、協力して子育て支援に取り組む。

子育てサロン

「つどいの広場」「ふれあい広場」との交流では、親子の遊びを提供、仲間つくりを応援する。

・久万高原町社会福祉協議会と連携

福祉大会に参加するなど地域との交流を深めている。

・ミーティング

原則毎月 1 回、活動拠点の地域子育て支援センター Happy House に、家庭教育支援員等が集まり、情報共有や、より良い対応方針について相談する。

④活動の成果

(活動実績がある 場合)

- ・子育て支援の拠点が1箇所に集まっているのでわかりやすく、誰でも利用しやすい利点がある。
- ・親を継続的にサポートしてきた結果、コミュニケーション能力や仲間意識が育って きている。
- ・母親の自主的活動を通して、母親同士の絆や子育て家庭と地域の繋がりが芽生 えてきている。
- ・保健センターとの長く密な連携を活かし、情報交換することで、より効果的な支援 ができている。

	・学校訪問が定着し、Happy サポートが町内学校との橋渡し役を担連携がしやすくなった。	うこととなり、
⑤活動財源 (複数チェック可能)	 ☑文部科学省補助事業(事業名:学校・家庭・地域連携協力推進事業 □文部科学省委託事業(事業名: □厚生労働省事業(事業名: □地方公共団体単独事業として実施 □特段の予算措置はない(自主的に活動を実施) □その他の支援により活動を実施)))